

# 東洋大学ライフデザイン学部紀要原稿執筆要領

平成17年4月1日

施行

改正 平成19年4月1日 平成27年4月1日 平成30年4月1日

## 1. 使用言語

使用言語は、特に制限しない。ただし、印刷等にあたり特別の技術を有する言語、査読委員の選出に困難を来す言語、その他の事情を有する言語については、事前に編集委員に相談すること。また母語以外を使用する場合には当該言語のネイティブ・スピーカーによる校閲を受けたいうえで提出することとする。

## 2. 執筆者

投稿資格者は、東洋大学ライフデザイン学部紀要編集内規第3条に定める者とし、共著者がいる場合は氏名の右肩に\*印を付けて示すこととする。

## 3. 要旨及びキーワード等

原稿の本文が日本語の場合には、欧文（英・独・仏のいずれか）の表題、著者名、要旨及びキーワードをつけること。欧文要旨は100～150ワード程度とする。

原稿の本文が英語又はその他の言語の場合には、各言語の要旨、キーワードのほかに、日本語の表題、著者名、要旨及びキーワードをつけること。日本語要旨は600～800字程度とする。

欧文要旨は、当該言語のネイティブ・スピーカーによる校閲を受けることとする。

## 4. 本文及び脚注・注

本文は原則として横書きとし、英語の場合はダブルスペースで記述する。原稿用紙の大きさはA4サイズを標準とする。長さは日本語の場合はA4用紙30枚を超えない程度とする（いずれの場合も図表を含むものとする）。他の言語の場合もこれらに準ずる。以上の内容に依りがたい時は編集委員と協議して決めることとする。

脚注は、本文中の該当箇所の右肩に一連番号を打ち、注そのものは当該ページの下部に記入する。各章毎、あるいは本文末に注をまとめる場合も、注番号は当該箇所の右肩に一連番号で示すこととする。

提出時に総字数を示すこととする。

## 5. 参考文献

参考文献は、原則として以下の要領で記載する。

### (1) 和文の参考文献

#### ① 雑誌

著者名、表題、雑誌名、巻数（号数）、（刊行された西暦年）

② 単行本

著者名、署名、発行所、ページ数、(発行された西暦年)

③ 編著書の中の1章又はシリーズの中の1巻

著書名、章名、編者(又は監修者)名、書名、発行所、ページ数、(刊行された西暦年)、  
又は著書名、書名、編者(又は監修者)名、シリーズ名、第XX巻、発行所、ページ数

④ その他の参考文献については、上記①、②、③に準ずる。

(2) 欧文等の参考文献の場合

上記(1)に準ずる。ただし、書名などについては、主な単語(Word)、固有名詞などは大文字で書き始めること。

6. 図表

① 図は著者の作成したものをそのまま印刷するので、黒インクで浄書(トレース)すること(ワープロ印刷でも可)。トレース等が困難な場合にはトレース料は自己負担とする。

② 図は、なるべく白紙に黒インクで大きめに書くこと。又、各図は一枚毎に別々の用紙に書くこと。

③ 図中の文字数字等は写植されるので、正確に書くこと。大文字と小文字、イタリック体、ゴチック体などの違いにも注意すること。

④ 図(写真を含む)及び表には必ず名称を付けること。

⑤ 図表の番号は、それぞれが本文に現れる順にしたがって、通し番号で付けること。又、本文中の各図表の挿入箇所は明確に指示すること。

⑥ 各図表の作成に使用した資料あるいは文献は、必ず注として明記すること。

7. 原稿の提出

原稿はテンプレートに添って入力したものを電子データで提出するものとする。電子データには、著者名を記述する。写真や図表を原稿に組み込まないで別途提出する場合は、挿入位置を指定すること。

8. 改廃

本要領の改廃は、ライフデザイン学部紀要編集委員会の議を経て行うものとする。

附 則

この要領は平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要領は平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要領は平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要領は平成30年4月1日から施行する。